

わだおかつ子

3月27日

最終号

重点目標「一步ふみだす子」よりよく考え、主体的に行動する

令和5年度 卒業証書授与式 和田岡小の「愛の教え」とは



3月19日、卒業証書授与式。30人の6年生が和田岡小学校を巣立っていきました。素直で、やさしく、たくましいひとりひとりへと成長した卒業生に、はなむけに、こんな言葉を贈りました。

(前略)私は何よりも感銘を受けたのは、皆さんの他者を思いやる優しい気遣いでした。縦割り遊び。下級生に楽しんでもらいたい一心で新しい遊びを考案してくれましたね。その優しい心遣いは下級生の心に、しっかりと届きました。さる2月27日、「6年生を送る会」。会の最後にお話をするよう依頼され、マイクを持った私の耳に、1年生の子ども達のすすり泣く声が聞こえてきました。私は誰か「喧嘩でもしたのかな。」と、勘違いしたのですが、1年生は皆、6年生とのお別れが悲しくて泣いていたのです。下級生のその美しい涙が、皆さんがどんなに素晴らしい最上級生だったのかを物語っていました。

そして、私自身、卒業生の皆さんのその優しさに救われた一人でした。これを覚えていますか？この夏、私が大病を患い入院・手術をした時、皆さんがくれたメッセージです。「校長先生が入院していると聞き、驚きました。毎日元気はつらつ、笑顔の校長先生が体調を崩すなんて…。どんなことにもくじけずに元気になって戻ってくるのを祈っています。」「校長先生のおかげで僕は前より自分のことが好きになりました。先生の復活を待っています。そして、次のひまわり賞を楽しみにしています。」「いつもひまわり賞をありがとうございます。登校中も見守ってくれて安心します。私たちがひまわりの姿のように上を向いてがんばります。早く帰っ

てきてほしいです。みんないつでもひまわりの笑顔で待っています。」皆さんのメッセージを病室の真っ白な壁に貼って、毎日読みながら、この優しい子どもたちのところへ帰ろうとがんばった闘病の日々は私にとって生涯忘れえぬものとなりました。あの夏、卒業生のあなたたちは、確かに私の生きる希望でした。心より感謝しています。

(中略)

卒業生の皆さん。いよいよお別れの時です。昨日の修了式でもお話しましたが、私は和田岡小学校の素敵な校歌が大好きです。その校歌の一節に、こうあります。「愛の教えにつゆぬれて 育つ若苗 雄々しくも」。雄々しく育つ若苗は、もちろんすくすく育つ皆さんのことを例えています。では、私たちが皆さんに授けるべき愛の教えとはなんだろう。私は本校に赴任してからの2年間、常に自問自答してきました。その答えは国語でも算数でもなく、「和田岡小児童すべての人権を大切に、ひとりひとりの個性をひまわりの花のように輝かせよう」という「ひまわり宣言」そのものでした。卒業生の皆さんは、その「愛の教え」を、クラスメイトを大切に、下級生をいつくしみ、ひたむきに自分自身の個性、良さを発揮することを通して体現してくれました。そのことに感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんがここでなしたことに誇りをもち、和田岡小の愛の教え、ひまわりの教えを心の奥にとどめて新しい場所で、あなたたちらしい大輪の花を咲かせることを信じています。結びとなりますが、皆さんの前途に幸多かれとお祈りし、式辞といたします。(令和5年度卒業証書授与式校長式辞より抜粋)

160人皆出席で終えられた修了式！全ての皆様に感謝を・・・

卒業式前日には、修了式が行われ、全校児童が一年間のすべての課程を終えることができました。式では各学年の代表児童に、修了証書を手渡しました。修了証書を受け取る子どもたちの姿はとても立派でした。そして、私がこの日、何よりうれしかったのは、全校児童160人全員が元気に登校。皆出席で終了式の日を迎えられたことでした。

「誰ひとり取り残さない教育」というフレーズを耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。文部科学省の目指す「令和の日本型教育」の大きな柱となる考え方です。しかし、言うは易く行うは難し。全国の小中学校の不登校児童生徒の数は30万人に達する勢いであり、いじめ認知件数は全国で68万件を数えるありさまです。

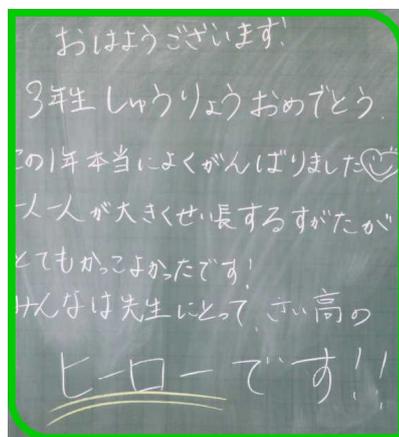
でも、そんな時代だからこそ和田岡小学校が皆出席で1年間を締めくくることができることには大きな価値があるような気がしてなりません。本気で「誰ひとり取り残さない」ためにがんばってきた本校の先生方に感謝です。そして、その思いを温かな家庭教育で支えてくださった保護者の皆様、積極的に学校教育に関わり、児童に数え切れないほどの貴重な体験をさせてくださった地域の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様に改めてお礼を申し述べます。1年間、和田岡小学校の教育活動に対して、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。令和6年度、本校が更に発展するよう全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

校長 梅葉 紳介



▲修了式での修了証書授与



▲黒板に書かれた担任の先生からのメッセージ